

難波宮跡第75次調査

(大阪府道高速大阪東大阪線の通過に伴う調査)

説明会資料

1976年4月



中央分離帯調査全景 (西北から)

高速大阪東大阪線難波宮跡調査会

I. 調査にいたる経過

昭和41年に、難波宮跡の中心部を横断して高速道路「府道大阪東大阪線」の建設が発表されたことから、宮跡の保存と高速道路の建設をめぐる議論を呼ぶことになった。以来両者を調和・両立させるために関係者（文化庁・大阪府教委・大阪市教委・大阪府土木部・大阪市総合計画局・阪神高速道路公団・大阪府警察本部など）の間で協議が続けられ、迂回案やトンネル案、さらに吊橋による長大橋案などが8年にわたって検討された結果、宮跡の主要部に与える影響も少なく、宮跡を整備する上で景観をそこなうことも少ないという理由で「平面案」が採用されることになった。

それによると建設済の高架部分からスロープで平面におり、中央大通の中央を227mにわたって通過、再びスロープで既設の高架上にもどるというものである（図1参照）。

この高速道路建設予定区域は、難波宮跡の内裏・朝堂院の中心部にあたるとともに、飛鳥時代の難波宮下層遺跡や中・近世の石山本願寺・大坂城跡が遺存する区域でもあるが、今回の高速道路工事によって7基の橋脚部分の遺構は完全に消滅する上に、その他の区域も半永久的に調査の機会が失われることになるので、大阪府・市教育委員会は協議の上、「高速大阪東大阪線難波宮跡調査会」（理事長 関井大阪市教委教育長）を設立し、建設区域内の遺跡調査を実施することになった。

ところで公団の当初設計案では、遺構面が現車道面下80cmと想定されていたが、これまでの発掘調査の結果からみて、それよりも浅く遺構面が出土する可能性が考えられたので公団に要請して遺構深さを調べるための試掘調査を実施させた。試掘調査は昭和50年4月に遺構が浅く残っていると想定される農林会館から近畿電々ビル間290mの中央分離帯部分を選んで、幅1m、深さ1mのトレンチを人力で掘削し遺構面の深さを調べた。その結果、一部で車道面下50～80cmで遺構面が検出されたので、公団の当初設計案を再検討させ、工事に伴う遺構面の破壊を防ぐために、西側壁式橋脚部分を全面的に50cmかさ上げするとともに、平面高速道路部分については、部分的に設計変更することを約させた。

また、遺構破壊が前提となる橋脚部分については、交通安全上必要最少限度に減らすことを要請し、森之宮ランプ西側では、当初計画の6箇所を5箇所に変更させるなど工事に伴う遺構の破壊を最少限度に止めることに努力した。

II. 調査計画

発掘調査は昭和50年6月1日から昭和53年3月31日まで2年10ヶ月にわたって工事と並行してすゝめられるが、法門坂～森之宮ランプ間約800mの範囲のうち、

1. 橋脚No.2～No.5間の中央分離帯部分の調査
2. 7基の橋脚部分の調査
3. その他の調査可能な部分の調査
4. 附帯工事を含む工事区域全域にわたる試掘・立会調査を実施することになっている。

これらの調査は通過車輛一日8～10万台と言われる交通量の大きい東西幹線道路「中央大通」路上でおこなわれるだけに、交通処理上、調査の安全確保上種々の制約が伴う上に、調査面積、調査日数等にも一定の限度があって、きわめて困難な調査になると思われるが、

1. これまでの調査成果に基づいて、調査範囲内に想定される遺構の実態をできるかぎり明らかにすることに努める。
2. また、従来道路下になっていたために未調査のまゝ残されていた部分については、この際できるかぎり未知の遺構の探索に努め、今後の難波宮跡の保存に資することを調査方針としている。

III. 75次調査概要

上記の調査計画のうち中央分離帯部分と歩道切削に伴う立会・試掘調査を難波宮跡第75次調査として実施した。調査は、難波宮跡調査会調査主幹中尾芳治（大阪市教育委員会主任学芸員）を担当者とし、広瀬雅信・藤田幸夫（難波宮跡調査会）、中川信作（難波宮址顕彰会）の3人が主として調査に当たった。

中央分離帯の調査

幅3m、全長約420mの分離帯を長さ21mずつ20ブロックに分割し順次発掘調査した。昭和50年6月16日から発掘に入り、12月13日に一応終了した。出土遺構・遺物は表1の通りである。第1～11トレンチで想定通りの遺構が検出されたほか、第12・13トレンチでは難波宮整地層がよく遺存していて、難波宮建物の柱穴多数が検出されたが、幅3mというトレンチの制約もあって、その時期や規模・性格については明らかにし得なかった。この部分は将来調査し得る機会があるので、その時はトレンチの南・北を拡張調査することになっている。第10トレンチでは後期内裏東面回廊のすぐ西側から、須恵器甕を土師器鍋で蓋をした甕棺が出土した。

また、部分的に難波宮下層遺跡の包含層が検出されたほか、第7・8・19次調査で出土した推定石山本願寺関係石積基壇の続きや近世の塙(?)、石敷・石組などが出土した。

なお、出土遺構の実測は調査期間の制約やトレンチ内に土留用のパイプサポートが多数入っている状況もあって全面的に写真測量をとり入れた。写真測量は奈良国立文化財研究所の指導の下に、アジア航測株式会社によって実施した。現在その図化作業をすすめている。

付帯工事に伴う立会・試掘調査

中央分離帯の調査と並行して、その終了後昭和51年3月6日まで実施した。その工事や調査の概要は表2の通りである。南側歩道の切削に伴う調査では、後期内裏回廊東南隅にとりつく建物を発見した第10次調査の成果を補足するとともに、そのすぐ西側で南面回廊に接して東西棟の建物が存在することを明らかにして、内裏内殿舎配置復原の上で大きな成果を得た。

これらの調査は工事に伴う遺跡の損傷を最少限度に止めることを目的とし、出土遺構は一切傷つけないという原則のもとに、調査の結果に応じて、工事の中止、位置や設計の変更を求めた。特に南側歩道を切削して車道を拡幅する工事に際しては、現車道面下よりわずか35cm前後で後期内裏南面回廊や内裏内建物の柱穴が出土する箇所があり、今後車道として使用された場合、遺構面が損傷されることが憂慮された。そのため舗装方法の再検討を阪神高速道路公団に要請した結果、公団では遺構の出土した整地層や地山などの地耐力を測定するとともに、その結果に基づいて通過車輛の荷重が地下の遺構に悪影響を与えぬよう舗装仕様を変更した。

なお、今回の調査に引続き、橋脚部分の発掘調査に入ることになっている。中央大通の交通処理上、橋脚部分の調査は北側・中央・南側の三回に分割しておこなわれるが、その北側部分の調査を昭和51年4月1日から実施する予定である。

これまでの調査で出土した遺物や作製した資料(図面、写真、スライド)は難波宮跡調査会現場事務所(東区法円坂町9 電話 941-4506)に保管され整理中である。

表1 中央分離帯調査出土遺構・遺物一覧

トレンチ	写真測量 年月日	主たる出土遺構	主たる出土遺物	その他
第1トレンチ	75.7.16 7.18	後期内裏外郭築地 整地層 下層遺跡包含層	聖武朝瓦(重圓文軒平瓦1)下層包含層より須恵・土師器、近世瓦・陶磁器	
2	7.18 7.29	掘立柱穴(下層)3	重圓文軒平瓦1	近世時の擾乱により後期内裏回廊址は遺存せず
3	7.29 8.9	前期回廊門柱穴6 後期柱穴3 下層柱穴7 土壌 1 小石敷	土壌内より須恵・土師器片	前期回廊門柱穴がよく残る埋土に焼壁・土の混入
4	8.9 8.29	前期西長殿柱穴4 後期内裏欄柱穴1 下層建物柱穴5		
5	8.9 8.29	後期内裏旧地表および小石敷 土壌 1	土壌内より須恵器	
6	8.29			近・現代時の擾乱のため旧軍時代の防空壕等以外遺構なし
7	8.29	浅い舟底状の焼土面(窯址?)	下層再堆積層より須恵杯形本品	同上
8	9.13 10.9	前期東長殿柱穴2 後期内裏欄柱穴1		第10次西地区の一部を再発掘
9	9.13 10.9	前期回廊門柱穴3 近世欄石垣	近世瓦・陶磁器	
10	10.9 11.11	後期内裏回廊柱穴3 中世基壇址1 下層建物柱穴多数 溝 1	須恵カメ、土師鍋のカメ棺、瓦堆積	第6次調査第2トレンチを一部再発掘
11	10.9 11.11	難波宮建物柱穴 下層建物柱穴	聖武朝瓦堆積(重圓文軒平瓦1)下層包含層より須恵・土師器片	第6次調査第4トレンチを一部再発掘
12	11.11 11.29	同上 整地層の遺存よし	整地層上の堆積層より須恵・土師器片多数	
13	11.12 12.1	同上	同上	
14				横断歩道のため第三期工事施行時(昭和52年1月~8月予定)調査延期
15				地下鉄工事の際5m以上擾乱、ハンド・オーガーによりボーリング調査
16				同上。電々ケーブル布設により遺構面及び地山削平・破壊
17				電々ケーブル布設・地下鉄換気工事のため擾乱・破壊
18	12.10	近世石敷・石組	近世瓦・陶磁器	地質状況が悪く建込土留では難波宮遺構面(車道面下2m以上)までの掘削が危険になったため、第三期工事施行時(昭和52年1月~8月)に再調査をおこなう
19	12.13	同上	同上	
20	12.13	同上	同上	

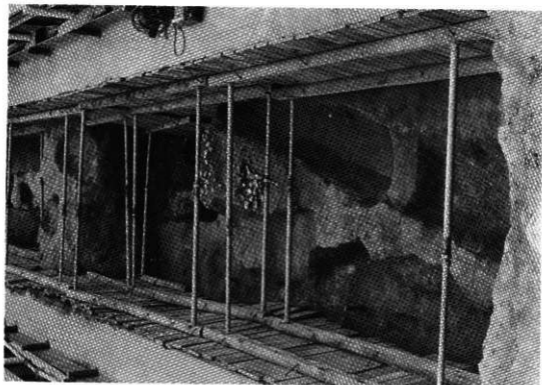
表2 附帯工事立会・試掘調査一覧

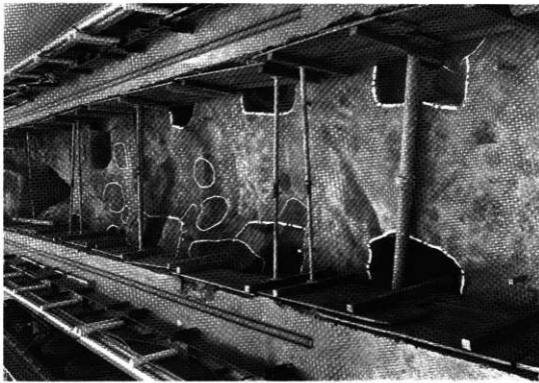
附帯工事	工 事 概 要	立会・試掘調査概要	主たる出土遺構及び出土遺物
下水道施設	排水マスの移設、排水管の布設 (中央大通両側歩道、上町筋西側歩道)	工事のバトロールと調査、遺構面の 掘出された箇所については掘削 しないことを前提に協議	前・後期内裏回廊柱穴各2、前・後期内裏前廊柱穴各1、後期旧地表及び小 石敷、下層遺物柱穴及びピット8、中世基壇、瓦増積2、整地層より須恵 器・土師器、近世瓦、陶磁器。
電々ケーブル	架空線の地下遷化 (共済会館歩道37m、 社会保険事務所歩道38m)	立会・試掘調査をおこなない。遺構 (柱穴)の検出された保線所新マン ホールは設計変更	下層遺物柱穴5、柱穴埋土より須恵器
間電電柱	電柱の移設 (中央大通 23本)	全箇所を試掘調査、遺構(柱穴・ 溝)が検出された箇所は移設場所 を変更、遺構破壊をさける	後期柱穴1、後期旧地表及び小石敷、下層遺物柱穴2、須恵器、土師器、 近世瓦、陶磁器
大阪ガス ガス管	ガス管の移設 (NHK朝橋筋 40m、 共済会館前歩道95m)	NHK前…夜間立会・試掘調査、 遺構なし、電々ケーブルと交叉箇 所の下層遺構については調査	下層遺跡包含層、下層遺跡土壌3、下層遺跡漆状遺構1、須恵器、 土師器、鉄器
街路樹	樹木撤去 (中央大通 115本、上町筋 12本)	撤去に際し遺構面を損傷しないよ うバトロールと立会	遺構面検出されず
信号・規制標識	移設 (中央大通 信号柱12、 欄干柱2、上町筋1)	試掘をおこなない、地山・遺構面が 検出された箇所については調査後 設計変更及び移設箇所の変更	後期内裏回廊柱穴1、下層遺物柱穴3、瓦増積、須恵器、土師器、近世瓦 陶磁器
車輻検知器・TV	移設 (検知器 中央大通4、上町筋1、 TV 中央大通2)	同 上	整地層遺存するが遺構検出されず
高速案内標識	移設 (中央大通4)	同 上	同 上
照 明 柱	移設 (中央大通8)	同 上	難波百遺物柱穴1、後期内裏回廊柱穴1、瓦、須恵器、土師器
公園内樹木	仮歩道用地撤去撤去 (32本)	撤去時立会	整地層遺存するが遺構検出されず、土師質土鍔
仮歩道用階段	馬場町交叉点西南向公園内に階段新設 (仮歩道用1、バス停用2)	工事の際立会調査、工事による遺 構破壊のおそれなし	近世石組
仮歩道内照明	新設 (7)	試掘調査にもとづき新設場所の変 更	
歩道切削	中央大通南・北側歩道(上町筋~森之 宮路山線間)の切削	工事深さ(40cm)以下で遺構が出 たした箇所は全面調査	前・後期柱穴多数、後期内裏回廊溝、後期旧地表及び小石敷各2、下層柱 穴及びピット25、中世基壇2、瓦増積、重層文軒瓦瓦、向軒平瓦、蓮華文 軒瓦瓦、母、礎石、須恵器、土師器、近世瓦、陶磁器

2. 同左瓦堆積・難空型地層・下層遺跡包含層・地山

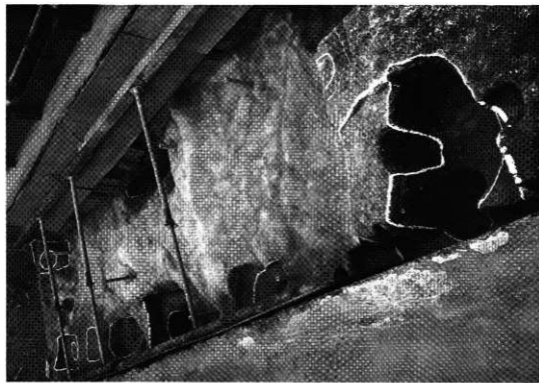


1. 第1トレンチ 後期内裏外郭跡地土壇と瓦堆積 (西から)





3. 第3トレンチ 前期回廊門柱穴 (東から)



4. 第4トレンチ 前期西長廊柱穴と重複する後期内裏備柱穴 (東から)



5. 第4・5トレンチ
車道面下50cmで検出された
難波宮旧地表面



6. 第7トレンチ 全景



7. 第9トレンチ 前期回廊門柱穴と近世堀? (東北から)



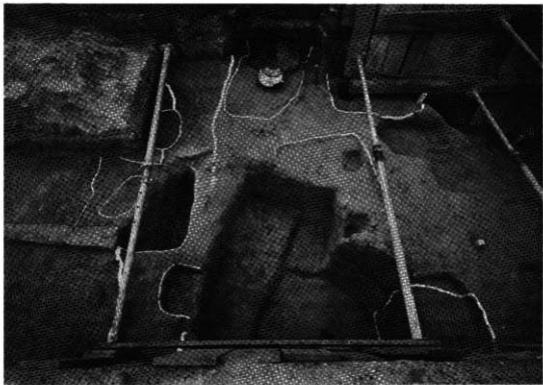
8. 同左 近世堀石埋



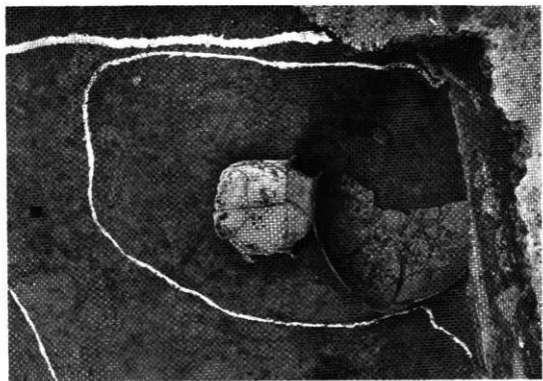
9. 第8トレンチ 難波宮旧地表石敷 (東南から)



10. 第10トレンチ 推定石山本願寺関係建物基壇と難波宮柱穴 (西から)



11. 第10トレンチ 後期内裏東面回廊柱穴・壘棺 (南から)



12. 同上 壘棺 (東から)



13. 第11トレンチ
後期難波宮瓦堆積
(西北から)



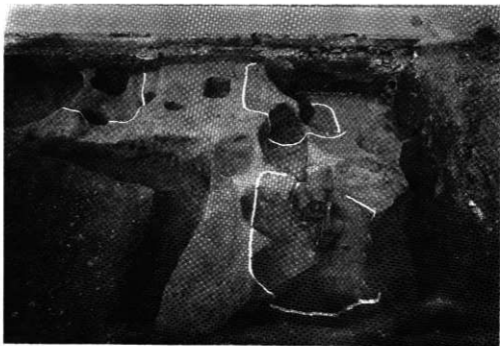
14. 第12トレンチ 難波宮整地層と柱穴 (東から)



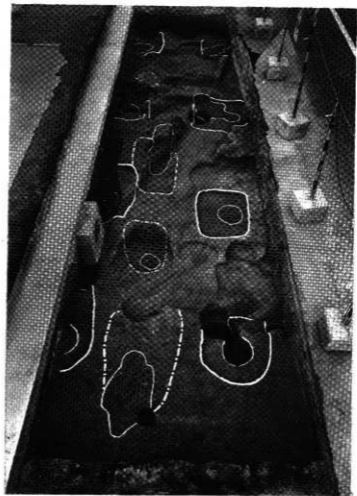
15. 第19・20トレンチ
近世石敷と石組
(西から)



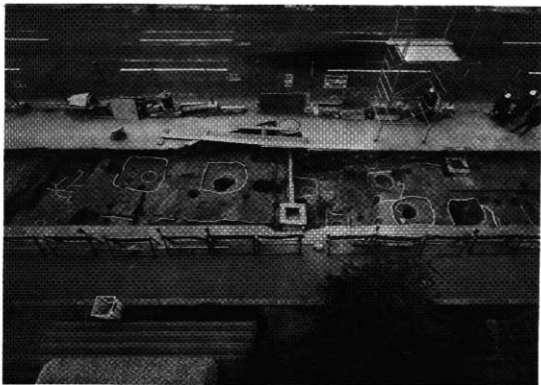
16. 同上 細部 (南から)



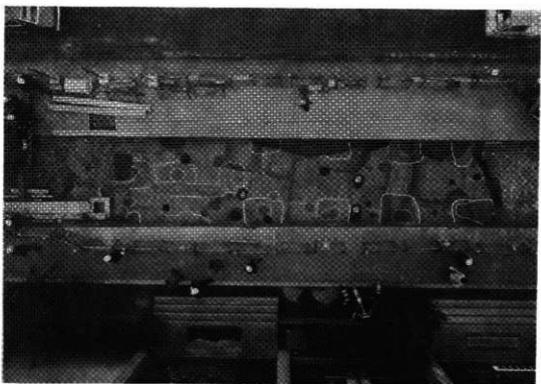
17. 南側歩道切削工事に
伴い出土した後期内
裏南面回廊柱穴
(南から)



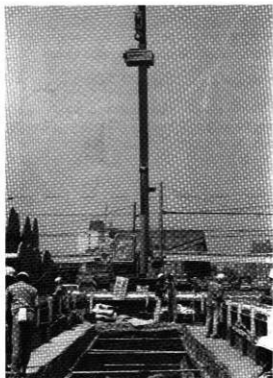
18. 同上柱穴と重複する前期西回廊柱穴 (東から)



19. 歩道切削工事に伴い出土した後期内裏東面回廊柱穴と内裏回廊
東南隅にとり付く建物柱穴
(南から)



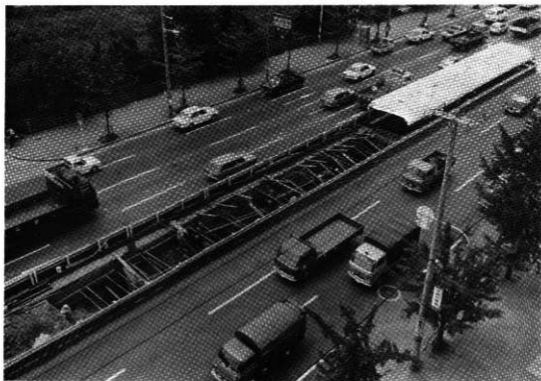
20. 同上 内裏南面回廊にとり付く建物柱穴と前期東回廊柱穴
(写真測量による)



21. クレーン車による写真測量



22. 今回の調査のために作製したクレーンによる写真測量



23. 中央分離帯トレンチの状況 ガードレール・仮覆いなど

26. 粉塵・排気ガスなどの測定



27. 運搬支柱凡瓦
待期内裏建物柱穴土の



24. 凍結層の地耐力調査



25. 凍結土面調査の強度試験

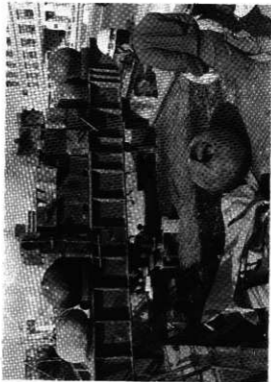


図 1. 難波宮跡および大阪府道高速大阪東大阪線略図

